

# 監事監査報告書

令和4年5月19日

社会福祉法人 大慈厚生事業会  
理事長 松井 尚子 殿

監事 安原 博志  
監事 田丸 春久

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方針により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### ① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### 3 追記情報

#### 《会計》

本年度は各拠点の経理担当者と直接面談のうえ、職務の執行状況、経理処理の方法、証憑書類の保存状況等について具体的な説明を受けるとともに、計算書類、付属明細書、財産目録について相互の関連性、処理の適正性について監査した結果、日々の処理及び計算書類の作成は社会福祉法人会計基準に準拠しており適正であることを確認しました。

社会状況の急激な変化に対応するため、次の点について具体的な取り組みに向けて検討するよう提言します。

1. 文書保存の負担軽減を図るために、帳簿書類の電子化の実行が必要と認められることから、対象とすべき書類の範囲及び開始時期について。
2. 金融機関の店舗統廃合や窓口業務の縮小等の影響を受け、現金により收受した利用料金の預入について業務の遂行が困難になりつつあると見受けられるので、電子マネーによる徴収方法の導入を検討し、現金取り扱い業務を縮小すること。
3. 金融機関の取引上の制約等から、小口現金、入所者立替金支出用現金の制限額を引き上げざるを得ない状況にあると認められることから、必要とする限度額の検討と、事故防止の観点から現金の保管方法の具体策について検討すること。

経理担当職員の職務に対する真摯な姿勢と、高度な経理処理能力に対し敬意を表すとともに、これからも高度な計算能力、書類作成能力が維持されるよう不断の努力をお願いします。

## 《処遇》

### (全体)

それぞれの拠点で特色のある取り組みをされており、より良い福祉サービスを提供できるよう工夫されている姿勢に感銘を受けます。

事業報告については、読み手側の視点に立った表記方法の統一を図られると共に、次の点についての検討をお願いいたします。

1. ヒヤリハットの件数を記載し、事故予防につなげて頂きたい
2. 充足率の表には定員の記載をして頂きたい

### (保育部門)

事故対応、訓練等がしっかりと行えており、丁寧な保育を心がけていらっしゃいます。保育指針に準拠した適正かつ十分な保育がなされていることを確認致しました。

### (老人部門)

コロナでの対応が大変な中、比較的高い充足率を維持されており、努力が見受けられます。苦情・相談においては、細かな要望を聞き取れる土壌は素晴らしいと思います。しかしながら、過剰な要望については施設として毅然とした態度で臨むことも必要かと考えます。

施設運営については、老人福祉法及び介護保険法に準拠し、適正になされていることを確認致しました。